

「社会学における多変量解析の応用」 Call for Papers

<http://www.bunrui.jp/journal.html>

特集 ‘社会学における多変量解析の応用’

日本分類学会編集委員会では、学会誌「データ分析の理論と応用」における特集「社会学における多変量解析の応用」の原稿を受け付けます。

社会現象のメカニズムを実証的に研究する社会学的研究では、広範かつ複雑な現象の分類にとどまらず、社会現象の記述と説明を目的としてデータ分析が広く用いられてきました。近年は、さまざまなデータが蓄積されて利用可能になり、また、より複雑でさまざまなデータやモデルを柔軟に分析できる手法が開発され、普及してきています。社会の変化や多様性、因果関係の解明のための先端的な手法への関心も高まっています。

本特集では、社会学的研究における応用的なデータ解析手法のモデル、応用やそれらの展望を内容とする投稿を募集します。多数の投稿が寄せられますことを期待します。

なお、投稿は特集でない投稿と全く同じ形式、手順および判断基準で採否を決定いたします。

投稿期限：2017年7月末日

発行：2018年4月(予定)

投稿宛先：bda-socsubmit@bunrui.jp

特集「社会学における多変量解析の応用」の担当編集委員
立命館大学産業社会学部 中井美樹

問い合わせ先：bda-socsubmit@bunrui.jp

なお、以下の費用は投稿者の負担になります。

- ・ LaTeX 以外の形式で、例えば、MS Word で投稿した場合に LaTeX 形式に変換するために発生する費用
- ・ カラーの図表も可能ですが、そのために発生する費用
- ・ 本文は、英文要旨を含み、原則 10 ページ以内です。10 ページを超える場合は、そのために発生する費用

詳しくは以下を参照して下さい。

投稿規定：<http://bunrui.jp/JCSJournal/rule.pdf>

執筆要項：<http://bunrui.jp/JCSJournal/guideline.pdf>